

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171400205		
法人名	有限会社ケアサポート・KSN		
事業所名	グループホームおうち		
所在地	佐賀県唐津市相知町平山上乙1196-1		
自己評価作成日	平成29年11月2日	評価結果市町村受理日	平成30年2月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

本人様にとって、安心出来る家庭的な生活の場。家族にとって安心して優しくなる環境の場。職員にとって働きやすい明るい職場。山間でのどかな自然環境、光と風、緑の美しさ等癒しの環境。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/">http://www.kaigokensaku.jp/</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成29年11月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

閑静な住宅地にあり、周りには季節を感じることができる花等が眺められ、心地よいホームである。理念が職員間に浸透し、理念に添った対応をしている。また、くち見学など地域行事への参加や花見、日常的な散歩や買物などの活動をしている。これらを含めた日常業務に職員の自主性が尊重され、職員間の意見交換も活発で、職員の勤務年数も長いなど、働きやすい環境である。毎月、入居者の現況を個々に家族に連絡し、家族との情報共有と連携を図っている。市内のグループホーム協会の研修会にも積極的に参加し意見交換等を行い職員の資質の向上に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時に、理念と基本方針を唱和し理念を共有し実践につなげられる様に努めている。	法人統一の理念を定め、毎日の申し送り時に唱和して、10項目の理念を確認している。新人研修や会議でも理念を確認して周知を図り、理念に添ったケアができるよう努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	月に一度定期的に地域の高齢者を呼んで交流会を行っている。	毎月一回、地域の方を招いて、一緒におやつを食べたり、ゲームをしたり、地域の運動会やお祭りにも参加するなど交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症について講演会を行ったり、視察研修等も受け入れている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの利用者様の状況報告を行いながら地域の方々の情報収集したり、意見交換をしている。メンバーが固定化する中でそのメンバーの知人であったり、友人であったり声をかけて頂く等の工夫検討している。	年6回開催しており、入居者の現況や、ホームで実施した行事・予定、地域の情報など意見交換をしている。また、運営推進会議を行事等と合わせて開催するなど、参加しやすい工夫をしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	唐津グループホーム連絡会を立ち上げ、唐津市内のグループホームとの連携や行政との連携も行っている。宅老所等の関連施設とも協力関係が構築していると思荒れる。	2ヶ月毎にグループホーム連絡会が開催され、毎回参加している。会には市の担当者も参加され意見交換をしている。個別の案件、ホームの現況については、市に報告し、その都度、助言してもらっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	処遇会議や申し送り等で職員に拘束しないことを伝えている。利用者様の安全確保の為に抑制が必要な場合は、最小限の抑制を行い早急に抑制が解除できる様に検討、実施を行っている。	毎月の会議や申し送り等で身体拘束に頼らないケアについて確認している。現在、対象者はいないが、やむを得ず必要な場合には手順の確認もしている。また、外部の研修会に参加して意識の向上を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修会に参加したり施設内で勉強会等を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護等の研修会に行く機会を作っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	機会があれば契約前にお話し、契約時には十分な説明を行い、質問、疑問等を伺い不安感を与えない様に務めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会や処遇会議の時や、地域の方々が来られ交流会の時に意見等ないか声をかけている。	家族の面会時や交流会で、家族等が親しみやすい雰囲気作りに努め、意見や要望を聞き、出た意見を運営に反映するよう努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度処遇会議の場で意見、提案の聞き取りを行っている。	月1回の会議や日常業務の中で、入居者のケアに必要な備品、また、職員個別の相談や提案を聞く機会があり、出た意見はできるだけ運営に反映するよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	必要に応じて、個人面談を行い就業意欲や研修への意欲その他勤務状況について話している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修を月に一回、唐津グループ会ホーム連絡会による研修会への参加や実践者研修にも参加させている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月、唐津市内のグループホーム仲間が集まり研修会や意見交換の場を作っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様が困っている事や不安に思っていること等、本人様とゆっくりお話しして聞き出したりして関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様が困っている事を聞き要望に応じることが出来る様に、利用が決まった時や家族様が面会に来られる度に意見や要望がないか等話しやすい環境作りをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様の現状の把握に努める為に本人様の状態観察とともに家族からの聞き取りや医療機関からの情報提供を受けている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族や本人様が不安がかかっていると感じさせないように、職員は代弁者としてお互いの思いを伝えるようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護していると言う考えよりも、お世話をさせて頂いてます、と言う気持ちを持ちながら家庭的な関係がけるような明るい楽しい雰囲気作りを行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	他科受診や、散歩や買い物等にお連れした時利用者様の馴染みのある場所へお連れしたりする。	知人、友人の面会時に、お出迎えとお見送りをし、お茶を出したり、居室でゆっくり過ごしていただくなど、訪問しやすい雰囲気づくりに努めている。また、馴染みのお店に買物に行くなど、馴染みの場所との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	その時に合せて座る場所を変えたり、職員が間に入ってその場の雰囲気を変えるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者様の家族に偶然お会いした際には、その後の生活を聞かせて頂いたり、思い出話をしたりしている。いつでも相談や遊びに来て頂けるようにお話している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限り、本人様の思いや意向が把握できるように、本人様や家族様から話を聞いている。	日常会話の中から本人の意向や思いを引き出し、把握した意向はできるだけ実行するようにしている。自分から意向をいえない入居者については、表情や仕草、家族からの聞き取りをして把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日頃から利用者様の生活歴や馴染みの暮らし方等を把握する為に記録簿を見たり、家族や本人様との関わりの中で情報収集しサービスに生かす様に指導している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃からお一人お一人のADLや顔つきや体調の変化等良く観察する様に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを行い職員からの意見を聞いたり、家族からの意見を聞かせて頂いたりして介護計画を作成している。	本人や家族の意向とカンファレンスでの職員の意見を踏まえて現状に即した介護計画を作成し、家族への説明・承諾を得ている。サービス内容について毎日チェックをすることで、職員との共有と評価に活かしている。また、状態変化が見られた場合は、随時変更するなど柔軟に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録の他に、個別ケアチェック表、個別支援経過記録、ケアプラン等職員がいつでも見る事が出来る様にしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の状況や写真を添付する等の報告をするほか、変化があれば電話やお便りで連絡し対応している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	田畑や緑豊かな地域資源を活用し、外に出て自然を満喫している。その中で農作業をしているご近所さんと会話されたり、安全でゆっくりとした暮らしを楽しんでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院との連携が出来ており、契約時にかかりつけ医から協力病院への変更は、適切に出来ている。専門医の必要な利用者様には、その都度専門医の受診が出来る様に家族が望む医療施設に紹介してもらっている。	かかりつけ医を継続することが可能で、他科受診を含め、ホームによる受診支援を行っている。また、看護師が連絡や受診の支援を行っており、内容は適宜、家族へ報告し、家族との情報共有を図っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常的に利用者様の状態が把握でき、適切に医療機関への調整が出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院が関連機関であるため適切な連携が図れている。入退院に関しても利用者様や家族様が不安にならない様に配慮している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者様の状態を家族に伝える際に、重度化する状態であればその旨心配されない様に適切に説明し、今後の経過方針等についても話し合い家族様が不安にならない様に取り組んでいる。	契約時のホームからの説明と、看取りの状況となったときの医師からの説明により、終末期の方針を医師・家族・職員で共有し、家族を含めた関係者でチームとして支援できるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会や研修会を行っている。日頃から実践力を身に付けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日頃から地域の消防団の方に来て頂き、災害訓練及び消火訓練を行い避難場所も確認している。	年2回、夜間想定を含めた避難訓練をしており、消防署や消防団も参加している。また、近隣住民も見学や消火訓練を一緒に行い、協力依頼をしている。必要な備品や備蓄の確保もしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇の研修や職業倫理について研修を行い、利用者様の尊重とプライバシー保護に努めている。	入居者の尊重を理念にも掲げており、接遇研修でも確認している。排泄時や入浴時には声の大きさや露出を少なくするなど、羞恥心への配慮に努めている。また、重要書類や個人情報情報の取扱いにも注意をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何がしたい？どうして欲しい？等自己決定出来る様に働きかける様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課を決めて対応してうが、利用者様個人個人のペースを大切に臨機応変に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出する時や交流会の時など衣服を着替えたり整えたり、散髪や顔そり等定行的に行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と共に庭先の畑を眺めては野菜の成長を見て収穫を楽しみにしている。(フキ)などのスジを取ったりつくしの下準備を手伝って下さる。旬の物を提供している。食事前にはテーブルを拭いて下さったりしている範囲内で利用者様にお願いしている。	ホームの畑で収穫した新鮮な野菜を食材に取り入れている。行事や誕生日には季節料理や入居者の食べたいものを提供する他、入居者を交えての手作りおやつや、庭でのお茶、年2回の外食など、食事が楽しくなる工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えて調理出来たかどうか、分かる様に食事献立ノートに食材を記入し職員全員が分かる様にしている。食事チェックを行い、利用者様の摂取量を把握し栄養や水分確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後必ず口腔ケアが出来たかチェックしている。利用者様の状況に合わせて支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お一人お一人の排泄パターンを把握し、個々に合せたオムツやパットを使用し、出来る限りトイレでの排泄を支援し自立に向けた支援をしている。	入居者の排泄パターンを把握し、仕草・表情等で予測し、トイレに誘導している。個々の状況に応じてオムツやパットを使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の摂取や水分摂取に努めながら、愛便チェックし、便秘が続くようなら緩下剤の処方をするなどして利用者様の苦痛を減らしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は週に3回として、必要に応じてシャワー浴や、清拭、手浴、足浴等行っている。	入浴時は、気分がほぐれ入居者の本心がうかがえる良い機会となっている。入浴は週3回としているが、本人の状況によっては、シャワー浴や清拭、手浴・足浴を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人に合った休憩時間をとっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	月に1回勉強会にて、薬の内容や効果や変更等話し合ったり、服薬内容(文献)を理會出来る様に分かりやすく記載し、職員全員理解出来る様に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ等の軽作業を手伝って下さる方や、折り紙や塗り絵など役割や楽しみごとの支援を心がけている。天候の良い日には散歩に出かけたりドライブに行ったりしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援出来る様に心掛けているが高齢化が進みADL及び理解度も低下され外出することが負担となる方も多。その中で日常的な散歩や外気浴をしている。花見やくんちなど季節に応じた外出支援も行っている。	花見やくんち等の見学などの外出をしている。買物の同行や散歩、外気浴を行うなど日常的に外に出る機会も設けている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在利用者様でお金を使ったりする方はいない。買い物に行く聞きがあれば支払ってもらうなど対応を心がけている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書いたりされる人がいない。電話がかかってくれば取り次いで話をして頂くように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各テーブルや床の間などに季節の花を活けている。共有の空間は、もちろん窓から四季折々の風景を見る事が出来る。	天井の窓からも陽光が射して明るく、掃除も行き届いた清潔な空間となっている。植物や季節の装飾から季節を感じ、職員の暖かい対応からも、アットホームな雰囲気を感じることができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有の空間の中にも、ソファがあったり和室があったりして一人になれたり、お友達や気の合う方との関わりもできる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室に畳が有り自宅の雰囲気作りおしている。居室には棚があり使い慣れた物や写真や馴染みの物を持参してもらい居心地の良さを作りだしている。	持込みの制限はなく、入居者はそれぞれ馴染みの物や写真を飾ることができる。本人・家族の意向と安全に配慮した物の配置をするなど、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様が安全に過ごせる様にキッチンからもリビングと和室の未満りが出来る作りになっている。和室に座って洗濯物たたみ等利用者の動きが分かる様に工夫されている。		